

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 ：一般国道51号 成田拡幅 <small>なりたかくふく ちばけんなりたしひがしかなやま</small>	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 関東地方整備局
起終点 ：自：千葉県成田市飯仲 至：千葉県成田市東金山	延長 ：5.8 km	
事業概要 ：一般国道51号は、千葉、成田、鹿嶋、水戸を結ぶ延長134kmの放射道路である。千葉県成田市における国道51号の道路整備状況は、成田拡幅事業前まで歩道幅も十分に無い2車線道路であり、交通渋滞も発生している状況であった。現在、事業区間のうち4.6km区間の4車線整備が終了しているが、起点、終点側の2車線区間では、依然として交通混雑や事故が発生している状況。 拡幅による混雑緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善を目的としている。		
S45年度事業化	S43年度都市計画決定 (H17年度変更)	S46年度用地着手 S46年度工事着手
全体事業費 ：21.7億円 事業進捗率 ：9.0% 供用済延長 ：4.6km		
計画交通量 ：25,600～41,900台/日		
費用対効果分析結果	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 39/461億円 (事業費：15/436億円) (維持管理費：24/24億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 1429/1429億円 (走行時間短縮便益：1386/1386億円) (走行経費減少便益：32/32億円) (交通事故減少便益：11/11億円)
感度分析の結果 ：事業全体・残事業について感度分析を実施 事業全体】交通量：B/C=3.5(交通量+10%), B/C=2.7(交通量-10%) 【残事業】交通量：B/C=41.7(交通量+10%), B/C=32.5(交通量-10%) 事業費：B/C=2.8(事業費+10%), B/C=3.4(事業費-10%) 事業費：B/C=35.2(事業費+10%), B/C=38.5(事業費-10%) 割引率：B/C=2.0(割引率+1%), B/C=4.9(割引率-1%) 割引率：B/C=33.1(割引率+1%), B/C=41.2(割引率-1%)		
関係する地方公共団体等の意見 ：成田拡幅は、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、成田市長をはじめとする関係5市2町の首長で構成される一般国道51号の整備促進期成同盟会より整備促進の要望(平成16年11月12日)を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ：昭和53年に成田空港が開港し、国際貨物取扱量が増加、成田空港の拡張工事や周辺の開発計画等により大型車混入率が増加し、混雑時旅行速度が低下している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ：現在までに4.6km区間で4車線供用しており、残る1.2km区間を引き続き事業中		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ：成田拡幅は、成田空港の開港にあわせ、優先区間から順次4車線完成を図っている。また、同一路線上の他の事業箇所との調整を図りながら整備にあたっている。		
施設の構造や工法の変更等 ：建設発生土の有効利用や新技術・新工法の積極的な活用によって、コスト縮減に努めて事業を進める。		
対応方針 ：事業継続		
対応方針決定の理由 ：以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。